

平和推進・安心社会づくり対策特別委員長報告



本会議で報告する
平木典道委員長

本特別委員会において調査・研究を行った調査項目は、災害に強いまちづくり、

障害者福祉の推進、高齢者福祉の推進、少子化対策及び平和の推進です。ここでは、委員会として提言を取りまとめた「少子化対策」及び「平和の推進」について掲載しています。提言は次の通りです。

1 少子化対策

●結婚支援の推進

少子化の大きな要因として未婚化がある。本市における生涯未婚率は、男女とも増加

している。結婚に対する希望があるにもかかわらず、「適当な相手にめぐり会わない」ということを主な理由として、結婚が実現できていないというギャップが生じており、結婚からの切れ目のない支援が求められる。

このため、非営利目的の婚活支援団体等との連携・支援や、市民に市は結婚を応援してくれていることが伝わるような、例えば、婚姻届提出時における記念写真撮影コーナーの全区展開や、市オリジナルデザインの婚姻届の作成など、結婚を応援する機運の醸成を図るための取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

特に、多子世帯や若者子育て世帯において、子どもの数による傾斜配分に意を用いながら、子育て、保育、教育、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

このため、非営利目的の婚活支援団体等との連携・支援や、市民に市は結婚を応援してくれていることが伝わるような、例えば、婚姻届提出時における記念写真撮影コーナーの全区展開や、市オリジナルデザインの婚姻届の作成など、結婚を応援する機運の醸成を図るための取り組みを検討されたい。

特に、多子世帯や若者子育て世帯において、子どもの数による傾斜配分に意を用いながら、子育て、保育、教育、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

また、若い世代が婚姻に伴う新生活を始めるに当たり、住宅の問題は大きいことから、住宅など多方面にわたり、更なる負担軽減に向けた取り組みを検討されたい。

●広島西飛行場跡地の活用
▼「新たな産業(にぎわい)ゾーンや多目的スポーツ広場、陸揚げスロープについて、1年という休止期間の重みを意識し、県としっかり議論していただきたい。」
▼MICE施設の実現可能性について、アクセスのことを中心に捉えて検討していただくとともに、市としてもしっかり意見を言っていたいただきたい。

●サッカースタジアムの建設
▼中央公園辺りに大規模な防犯カメラを設置していただきたい。
▼費用負担については、県と折半にしたい。
▼多額の費用が掛かる事業であり、国の交付金や県、商工会議所の費用負担の額により市民の負担は変わってくるので、資金確保について早く示していただきたい。

●比治山公園「平和の丘」構想の取り組み
▼眺望の確保のための間伐やせん定に、早急に取り組んでいただきたい。
●集約型都市構造の実現
●立地適正化計画の策定

●共通定期券は、バス便を減らすのに大きな効果があると思つので、早急に実施していただきたい。
▼バスの再編により、大幅減便となる地域については、代替案や激変緩和策を提示するなど、丁寧な説明を行っていただきたい。

●新交通西風新都線の整備
▼利用見込数は、10年前の交通実態調査に基づき推計されたものであり、高速4号線の利用状況も含め、調査をやり直すべきである。
▼約570億円という多額の経費を要する事業であり、費用対効果や全体の交通網をどう考えるかなど、一度立ち止まって再考し、緻密に議論していただきたい。

●人口が減少していく中で拡大路線をとるのなら、慎重に
●平和の推進に関する条例案の策定に向けて
被爆者の高齢化も一段と進み、被爆者自身から被爆体験を直接聞けなくなるといふ現実を迎えようとしている中で、被爆者の願いを次の世代へ継承していくため、平和の推進に関する条例について、改選後に取り組みを進めることとしている議会による政策立案を行うための仕組みの中で、条例案策定に向けて検討されたい。

●平和の推進に関する条例案の策定に向けて
被爆者の高齢化も一段と進み、被爆者自身から被爆体験を直接聞けなくなるといふ現実を迎えようとしている中で、被爆者の願いを次の世代へ継承していくため、平和の推進に関する条例について、改選後に取り組みを進めることとしている議会による政策立案を行うための仕組みの中で、条例案策定に向けて検討されたい。

▲永田議長(右)へ報告する平木委員長(右から2人目)、伊藤副委員長(左から2人目)、山内副委員長(左)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 平木典道 |
| 副委員長 | 伊藤昭善 |
| 委員 | 山内正晃 |
| | 中石 仁 |
| | 山本昌宏 |
| | 木戸経康 |
| | 近松里子 |
| | 豊島岩白 |
| | 八條範彦 |
| | 原 裕治 |
| | 米津欣子 |
| | 馬庭恭子 |
| | 安達千代美 |
| | 村上厚子 |
| | 谷口 修 |
| | 冲宗正明 |
| | 金子和彦 |
| | 児玉光禎 |

本特別委員会の提言や、これまでの委員会を通じて発言のありました委員各位の貴重な意見について、真摯に受け止めて、これらの取り組みを推進していただくよう、強く要望します。

- 山路英男
- 森本健治
- 桑田恭子
- 藤井敏子
- 西田 浩
- 渡辺好造
- 中森辰一
- 太田憲二
- 山田春男
- 木山徳和
- 酒入忠昭
- 藤田博之
- 木島 丘